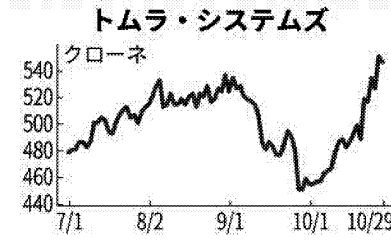


Investment Radar

ノルウェーのトムラ 年初来3割高



ノルウェーのトムラ・システムズが10月29日に上場来高値を付けた。2020年末からの上昇率は3割に上る。ペットボトルなどの回収機の運営や分別・再利

用する装置の製造などリサイクルを手掛ける。ESG（環境・社会・企業統治）の意識の高まりから世界で事業を拡大している。同社は80カ国以上で事業展開する。主力はペットボトルなど飲料容器や資源の回収事業で、売り上げの半分を占める。返却するとお金が返ってくる機械を街に設置し、回収した資源を業者に販売する。資源の分別や、食材・加工食品の選別装置なども手掛ける。ニッセイアセットマネジメントの三国公靖・上席運

資源回収機 需要に期待

用部長は「循環型経済を進める上で重要な事業を手掛け、ESGの本丸の銘柄」と評価する。今後も需要増加が見込める回収機の運営について「設置する自治体や店舗事業者との交渉が必要で参入障壁が高い」と強みを分析。同事業では世界シェアの7割超を占める。QUICK・ファクトセツトによる市場予想では21年12月期のEBITDA（利払い・税引き・償却前利益）は11億円で、前年比16%増となっている。ただし、予想PER（株価収益率）は68倍と割高感は否めず、金利上昇局面では嫌気される可能性もある。